

野田秀樹

野蠻人 のけものきこたりにて 降臨

新潮文庫

の けもの きた りて
野 獣 降 臨

新潮文庫

の - 6 - 1



昭和六十年八月十五日印刷
昭和六十年八月二十五日発行

著 者 野 田 秀 樹

発行者 佐 藤 亮 一

発行所 株式会社 新潮 社

郵便番号 一六二
東京都新宿区矢来町七一
業務部(〇三)二六六一五一
電話 編集部(〇三)二六六一五四〇
振替 東京四一八〇八番

定価はカバーに表示してあります。

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが小社通信係宛ご送付
ください。送料小社負担にてお取替えいたします。

印刷・株式会社光邦 製本・憲専堂製本株式会社

© Hideki Noda 1982 Printed in Japan

ISBN4-10-141501-3 C0193

新 潮 文 庫

野 獸 降 臨

野 田 秀 樹 著

新 潮 社 版

3428

目次

野獣降臨（のけものきたりて）	……七
大脱走——太田幸司さん、いかがおすごしですか	……二三
たかが人生——著者略歴	……二四〇

解説 井上ひさし

野
獣
降
臨

(のけものきたりて)

野 獣 降 臨

(のけものきたりて)

〔登場人物〕

アポロ獣一

月の兎

十二^{ひとえ}単衣の君

ハイエルダール船長

アルテミス上田

ブリアン少年

人道所長

畜生道入道

北里

東里

南里

西里

清少納言

紫式部

その他

青年

ボクシングのグローブを粹^{いき}に肩からぶらさげて、青年が現われる。四畳半に帰ってきた六回戦ボーイのように見える。

タバコを手にする。と思いきや、タバコのパラフィンだけを口にして、宇宙遊びを始める。

ヒューストン、ヒューストン、こちらアポロ11号、感度いかが？（パラフィンを口に）「感度良好」。僕が見えるか？「画面一杯だ」。了解。「月から地球は見えるか」。見つめると恥じらつて。「地球もお年頃だ」。月とお見合いでもさせるか？「仲人はどうする？」。エーテルでいいだろう。「肩の上に……」

突然、アポロ11号のヒューストンの声が、同時に入ってくる。

あの、ほどよく雑音の入った、宇宙からの通信音である。

秒読みの声、ロケット噴射音など。

宇宙服を着た男達も現われる。無重力である。

そこは一気に月面に変わる。

青年も慌てて宇宙服を着る。

ヒューストンの声 肩の上にベニシジミが止ってるぞ。

青年 え？

ヒューストンの声 こんちゅう 昆虫がいるのか？

青年 四十億光年の彼方かなたにあるへビ座のガス星雲だ。こんなことなら虫取り網を持ってくるんだった。

ヒューストンの声 そば 傍に咲いている薔薇ばらはなんだ？

青年 一角獣座のバラ星雲だ。

ヒューストンの声 そいつは手が届く距離か？

青年 ほんの六十億光年のところだ。

ヒューストンの声 では、薔薇を一輪もいでこい。

青年 了解。

ヒューストンの声 地球はやっぱり青いのか？

青年 イギリスは緑色だ。

ヒューストンの声 イベリア半島は？

青年 紫だ。

ヒューストンの声 フランスは？

青年 三色だ。

ヒューストンの声 日本は見えるか？

青年 蔵前国技館が見える。

ヒューストンの声 地中海はどうだ？

青年 南フランスの下で、地中海が大口を開けて笑ってる。

ヒューストンの声 虫歯はあるか？

青年 マジョルカ、サルジニア、コルシカ島ってところが地中海を虫食ってる感じだ。

ヒューストンの声 ギリシアはどうだい？

青年 今日は雨が降ってるだろう。

ヒューストンの声 わかるか？

青年 むらくもが、かかっているのが見える。

ヒューストンの声 オリュンポスは突き出しているか？

青年 ああ。

ヒューストンの声 美しいかい？

青年 あめのむらくもの上に抜きこんでた、あらがね敷いたオリュンポスの宮が夕陽に染まり、くがねの如く輝いている。アフリカがこちらに向って上ってきた。パレスチナの死海も、生きているようだ。太陽がマダガスカル島の付近に落ちようとしている。

ヒューストンの声 帰りたいだろうな地球へ。

青年 帰れるものなら。

ヒューストンの声 こちらヒューストン、感度いかが？

青年 帰れるものなら。

ヒューストンの声 こちらヒューストン、アポロ11号？

青年 ………。

ヒューストンの声 こちらヒューストン。

青年 ………。

激しい雑音の中に、ヒューストンの声は紛れていく。静寂。

青年 こちらアポロ11号。地球は少しも青くない。まっくらだ。ヒューストン、ヒューストン。骨は生きている。ヒューストン、骨は生きている……。

と、高みに女が立っている。

大きな耳と丸いしっぽ。

宇宙服を着た青年は、びっくりしたようにゆっくりと、その宇宙帽をとると……。

青年 まさかとは思うけれど……。

女 なあに？

青年 君は、月の兎かい？

女 そうよ。

そのとたん、月の兎にだけスポットが当る。

ドロドロドロ、と太鼓の音。

サーカスの綱張りの場となる。

よくみると、その綱は、電信柱から続く電線なのであります。

そこへ、バニー・ガールの格好をした男がでてくるのであります。

男 レデイス・アンド・ジェントルマン！ 皆様の目の前にお目見得いたしましたる一匹の

兎は、種も仕掛けもございません。ふる里は静かの海、かぐや姫と生まれを同じゅういたしまする月の兎にございます。キララと、みだらなスパンコールのキャルマタをはいて、さあさあ、お立ち合い。これより綱の上にて、この月の輪をくぐり、「あつ！」と思えますれば、いつの間にかこの兎、見事、美しき少年の姿へと転じます。題して「イカルスの月の輪くぐり」！

ドロ、ドロ、ドロ……。

兎、月の輪をくぐると、見事、少年に変わる。

いかにもうまくいった時の音楽。

同時に、大きな獣のぬいぐるみを被った、サーカスの獣達が入ってくる。

それを追うように鞭をふるう猛獣使い達が、やがて獣達を、丸太の門の中へ封じこめる。

そこへ、十二単衣ひとえを着た男が、十二単衣を着こんだ女官達を引き連れて、現われる。
男の名は十二単衣の君。

女官の中に紫式部と清少納言。

十二単衣の君 式部。くだんのこと、そいつはまことか？

紫式部 まことでございます。

清少納言 御覧あそばしましたでしょう？

十二単衣の君 遊びました。日がな一日。

紫式部 人の牛と書きまして、件くだんと読みます。

十二単衣の君 人が牛に化けたのね。

紫式部 ええ。

十二単衣の君 そいつは、ちよつとした事件じけんだな……の「件」が、「くだん」という文字な

のね。

紫式部 はい。

清少納言 ま、よくある話です。

十二単衣の君 よくあるの？ そんなことが。

清少納言 お話の世界では。

十二単衣の君 「くだんのこと」以外にも？

清少納言 ええ。

紫式部 お清ちゃんばっかり相手にして。

清少納言 お清ちゃん？ 清少納言って、言ってちょうだい。ムラちゃん。

紫式部 ムラちゃん？ 女中みたいに呼ばないでほしいわね。

清少納言 所詮、しよせん田舎役人の娘じゃないのさ。

紫式部 んまつ！

十二単衣の君 まあ、まあ、二人ともいい年をして。（と、尻をさわる）

紫式部 そこは年じゃありません、尻ですよ。

十二単衣の君 お清ちゃん、どうもこの話、合点がいかないのよねえ。

清少納言 いかなく所がでございます？

十二単衣の君 人が畜生に化けてはいけなかしら。

清少納言 いけません。